

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会(ホウガク ケンキュウ ヘンシュウ イインカイ)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1978
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.51, No.2 (1978. 2) ,p.128- 128
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19780215-0128

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

名誉教授島谷英郎先生が長い闘病の末に、昭和五二年一月二四日逝去された。温厚な先生を偲んで本号に先生の追悼のため特別記事を加えた。

先生は昭和三年に義塾に奉職され、昭和四五年に退職されるまで四〇年以上にわたつて法律学科の柱として教育に、また後進の指導にあたられた。先生の担当が商法の中でも海商法、保険法といった分野であつたことから必しもすべての学生が先生の講壇に接するわけではなかつたが、いつも明るい微笑を浮かべつたおだやかに語られる講義をなつかしく思い浮かべるのである。先生はおそらく大変な好人物であつたと思う。研究・教育のみで多忙にもかかわらず、学内の行政的雑務を快く負担され、戦後の混乱の中とりわけ多くの復員学生をかかえた複雑な時代に学生部長を担当され、血の気の多い復員学生に対しても講壇と交らないおだやかな語り方で説得されていた。さらに昭和三五年には就職部長の労もとられた。高度成長以前の時代でしかも急速に増加した学生をかかえて先生のご苦勞も少くなかつたものと思われる。

先生の人の好きに甘えてあまりにも先生に負担をかけ先生の研究時間を奪つてしまつた学生や後輩も少くないと思う。わた

くしたちの悩みについて、それが研究上のものであれ、全く個人的なものであつても先生はいつも誠実に対応され時間を惜しまれなかつた。教えることに對し、日常の指導に對して先生は貴重な教師であつた。大学の教員が学者・研究者としてのわくの中にとじこもり、教師としての一面を忘れがちの中にあつて先生はすぐれた教師であつたと思う。

学者としての先生はすぐれたいくつかの海商法の領域での論文を公けにされた。ただ顧るに、先生の好意に甘えてあまりにも多くの負担をおかけして先生の大切な晩年において成果の総括をする時間さえ奪つてしまつたことを申しわけないと思つてゐる。先生の出され、残された課題を發展させていくことが残された後進の仕事であることを考えて一層の努力を重ねることが学恩に報いることと信じつつ、先生の靈の安からんことをお祈りしたい。

法学研究編集委員会